

道総研インターンシップ2026募集コース一覧 (各コースとも基本は1 Dayプログラムです)

No.	募集コース	予定人数	応募条件	開催日時	プログラム内容 (予定)												
1	道総研を知るコース オンライン開催 (Zoom) *道総研本部主催	上限なし	なし	① 8/31 (月) ② 9/ 7 (月) 14:00~16:00	◆オリエンテーション 道総研の概要、福利厚生等の紹介 ◆仕事紹介 公設試験場である道総研の使命や理念、各試験場が取り組む研究テーマ等の紹介 ◆座談会 本部に在籍する様々な分野の研究職員とフリートーク。働き方や仕事内容等を紹介												
①または②のいずれか1日のみ参加可能です (各日とも内容が同じ)																	
2	農業コース 中央農業試験場 (長沼町) ホームページ	各日 18名程度	なし	A : 9/3 (木) B : 9/4 (金) 10:40~15:45 農業コースは札幌(道総研本部)発着の送迎バスを利用可能です	◆オリエンテーション 農業研究本部 (8 農業試験場) の概要説明 ◆仕事紹介、職場見学、業務体験 下記の部門のうち、いずれか1つを選択 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">A 9/3 (木)</td> <td style="text-align: center;">作物開発部門</td> <td>畑作物と果樹の品種改良と栽培法の開発、バイオテクノロジーを用いた効率的な選抜技術の開発や有用遺伝子の同定や利用、新たな育種素材の作出を実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">加工利用部門</td> <td>農作物の品質向上のための品質評価技術や簡易分析法の開発、機能性成分に関する試験を実施</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">B 9/4 (金)</td> <td style="text-align: center;">農業システム部門</td> <td>農業経営及び農産物の流通に関する試験研究、農業機械に関する試験研究を実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農業環境部門</td> <td>農地の生産環境保全、有機農業を支援する技術の研究、畑作物及び園芸作物の土壌管理などの研究、生産基盤の整備に関する調査、肥料などの分析、依頼分析を実施</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">病虫部門</td> <td>新発生病害虫や難防除病害虫などの発生生態の解明や防除対策の確立、I P M (総合的病害虫管理) の視点から防除法を開発・改良・確立する試験研究、病害虫の診断及び発生予測の高精度化に関する試験研究を実施</td> </tr> </table> ◆座談会 若手研究職員との意見交換 (就職した動機や職場の雰囲気、仕事に対する充実感など道総研の特色や魅力を紹介) ※ 天候等の事情により、内容が変更となる場合があります。	A 9/3 (木)	作物開発部門	畑作物と果樹の品種改良と栽培法の開発、バイオテクノロジーを用いた効率的な選抜技術の開発や有用遺伝子の同定や利用、新たな育種素材の作出を実施	加工利用部門	農作物の品質向上のための品質評価技術や簡易分析法の開発、機能性成分に関する試験を実施	B 9/4 (金)	農業システム部門	農業経営及び農産物の流通に関する試験研究、農業機械に関する試験研究を実施	農業環境部門	農地の生産環境保全、有機農業を支援する技術の研究、畑作物及び園芸作物の土壌管理などの研究、生産基盤の整備に関する調査、肥料などの分析、依頼分析を実施	病虫部門	新発生病害虫や難防除病害虫などの発生生態の解明や防除対策の確立、I P M (総合的病害虫管理) の視点から防除法を開発・改良・確立する試験研究、病害虫の診断及び発生予測の高精度化に関する試験研究を実施
A 9/3 (木)	作物開発部門	畑作物と果樹の品種改良と栽培法の開発、バイオテクノロジーを用いた効率的な選抜技術の開発や有用遺伝子の同定や利用、新たな育種素材の作出を実施															
	加工利用部門	農作物の品質向上のための品質評価技術や簡易分析法の開発、機能性成分に関する試験を実施															
B 9/4 (金)	農業システム部門	農業経営及び農産物の流通に関する試験研究、農業機械に関する試験研究を実施															
	農業環境部門	農地の生産環境保全、有機農業を支援する技術の研究、畑作物及び園芸作物の土壌管理などの研究、生産基盤の整備に関する調査、肥料などの分析、依頼分析を実施															
	病虫部門	新発生病害虫や難防除病害虫などの発生生態の解明や防除対策の確立、I P M (総合的病害虫管理) の視点から防除法を開発・改良・確立する試験研究、病害虫の診断及び発生予測の高精度化に関する試験研究を実施															
複数の部門に参加したい方は、A・Bの両日とも参加可能です																	
3	畜産・飼料作物コース 畜産試験場 (新得町) ホームページ	8名程度	・参加1週間前に海外渡航をしない者 ・参加期間中に他の畜産関連施設に立ち入らない者	9/10 (木) 13:15~15:40	◆オリエンテーション 畜産試験場及び酪農試験場の概要説明 ◆職場見学及び職場体験 班に分かれ、各班のメンターから業務内容を説明、研究施設の見学・業務体験など ※終了後のJ R 新得発札幌方面行き 16:12発、新得発帯広方面行き 16:54発												
4	水産コース 中央水産試験場 (余市町) ホームページ	30名程度	なし	A : <1日間> 9/ 9 (水) 10:00~16:00 B : <2日間> 9/ 9 (水) 10:00~16:00 9/10 (木) 10:00~12:00	◆オリエンテーション 水産試験場の役割や取組、3つの研究部門の概要説明 ◆施設見学 実験設備、職場の雰囲気の見学 ◆実習コース 下記のうち、いずれか1つを選択 ○実習コース：資源管理部門 魚類の測定および魚類の年齢査定の実習 得られたデータを解析し、結果の活用例を担当者から研修 ○実習コース：資源増殖部門 北海道の水産増養殖、特にホタテガイ漁業に関わる調査研究について講義 ホタテガイ天然採苗に関わる浮遊幼生の免疫染色の実習 ○実習コース：加工利用部門 加工技術の開発、低・未利用水産資源の有効利用技術の開発について講義 ホタテガイ乾貝柱の品質評価 (色調測定、識別検査) の実習 ◆意見交換 若手職員等が研修生への就職のアドバイスを道総研の魅力を紹介												
複数のコースに参加したい方は、Bコース(2日間)にご参加ください																	
5	林業コース 林業試験場 (美唄市) ホームページ	各日 10名程度	なし	① 9/ 2 (水) ② 9/11 (金) 10:20~15:20	◆オリエンテーション 林業試験場の概要説明 ◆実験林での業務体験 若手研究職員による調査、研究業務の紹介と体験活動 ◆室内での業務体験 実験林での業務体験に関連した、測定・分析などの体験活動 ◆座談会 若手研究職員との意見交換 (道総研の魅力、就業環境、暮らしなど)												
①または②のいずれか1日のみ参加可能です (各日とも内容が同じ)																	

No.	募集コース	予定人数	応募条件	開催日時	プログラム内容（予定）
6	林産コース 林産試験場 (旭川市) 	各日 10名程度	なし	① 9/ 1 (火) ② 9/16 (水) 10:10～15:30	◆オリエンテーション 林産試験場の概要説明 ◆場内施設見学 実験設備や職場の雰囲気を紹介 ◆座談会 若手研究職員が日頃の業務を紹介。研修生へのアドバイスや道総研の魅力を紹介 ◆就業体験 下記のうち、いずれか1つを選択（測定器具の取扱い、解析方法のレクチャー等） ○木質材料の強度試験・性能評価 ○(9/ 1) 木材の材質試験・成分分析 (9/16) 木材の材質試験・成分分析、きのこ栽培 ○木質材料（木質ボード等）の製造試験
					①または②の いずれか1日 のみ参加可能です（就業体験「きのこ栽培」は②9/16のみ体験可能）
7	工業コース 工業試験場 (札幌市) 	10名程度 (各分野 最大5名)	なし	9/9 (水) 10:00～15:50	◆オリエンテーション 工業試験場の概要説明 ◆仕事紹介 各部の業務の特徴等を紹介 ◆職場見学、業務体験 各部の執務室、試験設備等を見学 下記の分野からいずれか1つを選択し、作業体験 ○情報工学 ○機械工学 ○材料工学 ○応用化学 ○デザイン・人間工学 ◆座談会 若手研究職員との意見交換（就職した動機や職場の雰囲気、仕事に対する充実感、道総研の特色・魅力等を紹介）
					①または②の いずれか1日 のみ参加可能です（各日とも内容が同じ）
8	食品コース 食品加工 研究センター (江別市) 	各日 12名程度	なし	①9/ 2 (水) ②9/11 (金) 10:00～16:00	◆オリエンテーション 食品加工研究センターの概要説明 ◆職場見学 研究や企業支援で使用する分析機器や加工設備を見学 ◆職場見学 食品加工研究センター業務を体験 ◆意見交換 若手研究職員との意見交換（参加者の質問に回答する形式で、就職した動機や職場の雰囲気、仕事に対するやりがい、道総研の魅力等を紹介）
					①または②の いずれか1日 のみ参加可能です（各日とも内容が同じ）
9	エネルギー・ 環境・地質 コース エネルギー・ 環境・地質 研究所 (札幌市) 	エネルギー (6名) 資源循環 (4名) 地質 (6名) 環境科学 (4名) 自然環境 (5名)	なし	9/8 (火) 10:00～16:00	◆オリエンテーション エネルギー・環境・地質研究所の概要説明 ◆仕事紹介、職場見学、業務体験 （内容が変更となる場合があります。） 下記の分野のうち、1つを選択し、職場見学や実習を実施 ○エネルギー：GX・エネルギーの研究紹介、北海道の地熱・温泉資源の説明 試験装置（太陽熱集熱器等）、温泉井戸、探査装置の見学 ○資源循環：分析機器の見学、電子マニフェストを用いた産業廃棄物の処理状況の分析 ○地 質：札幌の地形・地質、水資源の説明、試験装置（粒度分析機等）の見学、 水井戸を用いた検層・水質分析 ○環境科学：水環境の研究紹介、分析機器等の見学、河川の採水調査・データ解析 ○自然環境：植物・動物の研究紹介、ヒグマ検体試料の処置の見学、ドローン操縦体験 ◆座談会 若手研究職員（概ね採用3年目）が仕事に対するやりがいや充実感など職場の魅力を紹介
					①または②の いずれか1日 のみ参加可能です（各日とも内容が同じ）
10	建築コース 北方建築 総合研究所 (旭川市) 	各日 4名程度	なし	A:9/14 (月) B:9/15 (火) 10:00～16:00	◆オリエンテーション 建築研究本部の概要説明 ◆仕事紹介 職員が自身の研究や道総研の仕事を紹介 ◆職場見学 庁舎に適用されている省エネ技術、保有する実験設備の紹介 ◆9/14 実習コースA：地域研究コース 地域研究や防災研究に携わる研究職員とのディスカッション（一部、実習形式を予定） ◆9/15 実習コースB：建築研究コース 建築構法や建築環境分野の研究職員との実習、ディスカッション
					両方のコースに参加したい方は、A・Bの 両日とも 参加可能です